「私の姉が末期がんなんです…」

昨日やまなみ工房にいただいたお電話です。

その方のお話ではお姉様は自分の現実を受け止め、素晴らしい最期が迎えられるよう今日も必至だとおっしゃられていました。

「本人のたった一つのお願いを叶えてくださいませんか。」
その方のお姉様の最後のお願いだそうです。

「私の葬儀に来て下さった方々に菜穂子地蔵をお渡したいのです。」と…

お姉様は菜穂子さんの事を知りません。
どこかで菜穂子さんが作られたお人形を見て忘れられなかったのでしょうか。

「菜穂子地蔵に出会い私は“ほっと優しくなれました。”お世話になった皆様にもそんな思いを届けたいのです。」と…

菜穂子さんは26年間、そして今日も好きな時に好きな分しかそのお人形を作りません。
菜穂子さんは今も昔も変わらないそのお人形しか作りません。

私達は御電話をいただき、人が“ほっと優しい気持ちになれる”人形を作る菜穂子さんの偉大さに気づかされるとともに、そんな菜穂子さんと過ごせる事に感謝し、今日一日をもっと大切にしたいとあらためて思いました。

ご注文をいただいた菜穂子地蔵をお姉様にお送りする日が、一分でも一秒でも遠い未来になりますように。